平成24年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人ジャパンかながわ

1 事業の成果

一昨年度移転を行った六角橋店は、地域の拠点としての機能の充実を図るべくレイアウトの変更や バックヤードの充実などさまざまな工夫を多くのボランティアの参加で挑戦を続けてきました。それによ り、新たな人の参加と広がりを見せています。大口店・反町店において、中心になるマネジャーの交代 が実現しました。大口店では大幅なレイアウトの変更を行い、また新たな人の参加にもつながりました。 反町店は若い世代への交代により、若い世代の参加を促す工夫を凝らしています。男性ボランティア の参加も増え、幅の広い人々が参加するWEショップとなりました。

フィリピン・モンゴル・カンボジアへの支援を基本として報告会などを行い、支援先のメンバーとの信頼関係も深いものとなっています。民際支援事業に対する金額が助成金や募金などを含めて約160万円となり、漸く事業実績金額の約1割を民際支援事業に活用することができました。

神奈川区国際協力ネットワーク(以下KKネットワーク)に参加している「グローバルフォーラム」との 共催で行った「モンゴルの草原に流れる馬頭琴の調べ」は、支援先のモンゴル NGO「希望の架け橋」の ウルジさんの協力を得て実施しました。同じくKKネットワークに参加する「アフリカルチャー」の「セネガ ル物語」への協力も、地域のなかで他の団体との連携が大きく進んだものとなりました。

また、青木小学校のイベントに参加したことにより若い世代へのアピールとなり、若い世代が参加するきっかけとなりました。神奈川中学校の職業体験受け入れは7年前から継続しており、昨年度に続いての捜真女学校生徒をはじめ、高校生や大学生のボランティアの受け入れも増え、受け入れ体制の課題をもちながらも若い世代への情報発信の機会ともなりました。

昨年度に続き「東日本大震災の被災地復興のために、何ができるか?」と、NPO「ザ・ピープル」の「いわきオーガニックコットンPJ」への支援から「綿つみボランティアツアー」を企画し、現地での作業支援を実施、その成果物の「コットンドール」の販売を行うことで、「3・11 を忘れない」ことを、常に地域にアピールしてきました。復興支援の広がりとして「おしゃれ手袋」の販売につながりました。

「NPOの税制の問題」から認定NPO法人へのチャレンジに先立ち、神奈川県が設定した「指定NPO法人制度」への申請を行い書類が受理され、承認がおりるのを待つ状況です。この申請に当たり、様々な書類を作成することによりこれまでのことの確認や今後の計画など検討することも多く、また新たな課題もでてきました。

企業からの寄付を受けました。活動をする上での大きな励みとなると共に、社会においてWE21 かながわの存在の意義が確固たるものになってきていることを確信しました。

2. 事業内容

(1)特定非営利活動に係る事業

①資源のリユース・リサイクルを推進する事業

ア リユース・リサイクルショップ「WEショップかながわ六角橋店」「WEショップかながわ大口店」「W Eショップかながわ反町店」を運営しました。

『WEショップかながわ六角橋店』横浜市神奈川区西神奈川 3-16-1 プロスペーリタ樋口 1F

*営業時間 週6日 10:30~17:30 (但し、土曜日は10:30~17:00)

* ショップスタッフ 1 名
* ボランティア 28 名
* 事業順 3 6 606 605 円

*事業収入 6,606,695 円 *事業経費 5,701,626 円

- * 女子大生のインターンシップ、中学生ボランティアの受け入れを行いました。
- *リメイクチームの拠点として、定例会・講習会を行いました。

『WEショップかながわ大口店』 横浜市神奈川区大口通 7-3 原橋ビル 1F

*営業時間 週6日 10:30~17:30

* ショップスタッフ2名* ボランティア18名* 事業収入5,634,178 円* 事業経費4,716,188 円

- *神奈川中学校の職業体験生(男子2名)を受け入れました。7月2日~4日
- * 大口通り商店街納涼夜店に参加し、売上は東日本復興支援の募金としました。

8月25日・26日 24,376円

『WEショップかながわ反町店』 横浜市神奈川区松本町 2-18-12 池田ビル1F

*営業時間 週 6日 10:30~17:30

* ショップスタッフ 2 名

* ボランティア 16 名

*事業収入 4,655,480 円 *事業経費 4.459,305 円

* 捜真女学校や他の高校のボランティアを受入れました。

イ 3ショップ合同きもの市

日程:1月22日-23日-24日

場所:WE ショップかながわ反町店にて

売上:370,070 円 491 点

客数:158人

ウ A SEED JAPAN主催の携帯電話回収キャンペーン

反町店 : 8月31日~ 9月28日 17台 大口店 : 9月28日~10月26日 12台

エリメイクチーム

WE21 かながわにおいてできる資源の有効活用に取り組み、ファイバーや見切り品を活用しました。 活動の拠点を六角橋店におき、定例会や各講習会を開催しました。

- 〇 リメイクチーム「リライフ工房 布」として毎月1回(第1水曜日)定例会を実施し、情報交換と共有に努めました。(4/5、5/9、6/6、7/4、9/5、10/3、10/31、12/2、1/8、2/6、3/6)
- 〇 リメイク講習を毎月1回(第3金曜日)に企画実施しました。近隣の施設等からの依頼や小学校でリメイク小物の出前講習も行いました。
- 〇布ぞうり講習を毎月1回(第4火曜日)に実施しました。町内会の講師育成のために特別講習 も行いました。
- 〇リメイクチームのメンバーが製作した小物、衣類を3ショップに設置したリメイクコーナーにて、 展示販売しました。

オ 3.11をわすれない

WE21が推進する「3. 11をわすれない」に取り組み、3月11日の3ショップの衣類・雑貨の収益を福島県いわき市小名浜で活動する 特定非営利活動法人 ザ・ピープルの復興支援に寄付しました。 寄付金:95,490円

カ 「WEショップかながわ六角橋店」「WEショップかながわ大口店」「WEショップかながわ反町店」 に寄付されたリサイクル品の中で、見切り品やファイバーはエコものセンター(神奈川県綾瀬市 小園 822-1)に移送後、WE21ジャパン本部と契約関係にある故繊維業者(株)ナカノ(ファイバー)、(有)飯室商店(陶磁器・ガラス器)と連携し、最後までリサイクルに責任をもちました。

〇ファイバー ナカノ(株) 秦野市戸川467-2

ファイバー量 六角橋店 約 222 袋 およそ 1.554 kg 大口店約 156 袋 およそ 1.106 kg 反町店約 173 袋 およそ 1,211 kg *1 袋≒ 7 kg

- ○ガラス器・陶磁器 (有)飯室商店 綾瀬市早川 2605-47
- 〇陶磁器 (株)カイエンタイグローバルサービス 東京都多摩市永山 4-2

②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と 自立のための活動を支援する事業

おもにアジアにおける市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための支援をしました。国内においては、東日本大震災(2011.3.11.)による復興自立のための活動に支援しました。

ア 海外 NGO、国内 NPO のプロジェクト支援をしました。

2012 年度海外 国内支援助成金

総額 1,592,045 円

海外支援 合計金額 1,238,194 円

≪助成金≫ 合計 1,000,000 円

支援先		支援国	プロジェクト名	金額
1	住民組織「ダイヨコン」	フィリピン	先住民族地域保健事業 (CHCIS)	300,000 円
2	幼い難民を考える会 (CYR)	カンボジア	CCDOとケマラの保育所支援	300,000 円
3	希望の架け橋	モンゴル	希望の村 「母子家庭の自立支援」	300,000 円
4	WE21 ジャパン/コーディリエラ ・グリーン・ネットワーク(CGN)	フィリピン	「コーヒーの森づくり」・アグロフォレストリー栽培によるコミュニティづくり	100,000 円

寄付先		支援国	プロジェクト名	金額	
			乳幼児・妊産婦対象の	72 567 M	
5	ハンガー・フリー・ワールド (HFW)	ブルキナファソ	栄養改善事業(CREN)	73,567 円	
			90 円おかゆ募金	9,677 円	
6	日本イラク医療支援ネットワーク	/=h	イラクと福島の子どもたちへの	151,200 円	
	(JIM-NET)	イラク	チョコ募金 「あしたのチョコレート」		
7	希望の架け橋	モンゴル	希望の村	3,750 円	
			「母子家庭の自立支援」		

東日本復興支援 合計 353,851 円

≪助成金・寄付・募金≫

寄付先		県名	プロジェクト名、支援内容	金額
8	ザ・ピープル	福島 いわきオーガニックコットンPJ		329,130 円
9	えぜるプロジェクト	宮城	塩釜の仮設住宅に住む人々の支援 「手仕事くらら」	21,421 円
10	子どもたちを放射能から守る 福島ネットワーク	福島	子どもたちを放射能から守りたい	3,300 円

イ フェアトレード品の取り組みをしました。

- ネパール産コーヒー、紅茶、カレースパイスセットを販売し、女性の生活向上に寄与しました。 (271 点 118.438 円)
- O WE21 ジャパンが輸入元となっているフィリピンのジンジャーティに取り組んでいます。その収益 は住民組織の基金や個人の収入等に当てられています。 (252 本 176,400 円)
- モンゴルの無職の母親の自立支援、女性の生活向上支援として、羊毛から作ったフェルトスリ

ッパ(スタンダード型、先とんがり型の2種類)をモンゴル支援連絡会に参加する他のWE21地域 NPO と共に取り組みました。 (110 足 129,800 円)

- パレスチナの伝統技術によって作られたオリーブ石けんをフェアトレードする事で、パレスチナ への理解を深めました。 (160 個 60,800 円)
- ウ WE21 ジャパンが呼びかけた「貧困なくそうキャンペーン」に参加しました。
 - 〇10 月 1 日から 17 日までの売上(衣類・雑貨)の 10%と、10 月中店頭で行った募金をハンガー・フリー・ワールドの乳幼児・妊産婦の栄養改善事業(CREN)に寄付しました。

(10月1日~17日 83,244円)

- ONGOのネットワーク 動く→動かす が主催した「STAND UP TAKE ACTION」に参加し、貧困解 決を求める意志を示すために立ち上がり行動することを呼びかけました。(10月2日、15日)
- エ チョコ募金「あしたのチョコレート」のキャンペーンを実施しました。 日本イラク医療支援ネットワーク(JIM=NET)主催の「あしたのチョコレート」キャンペーンに賛同し3ショップにて行いました。 (1月15日~2月14日 3ショップ募金額合計:151,200円)
 - オ アジア・友だち・みらい貯金箱を配布し、募金を集めアフガニスタンの教育事業に寄付しました。 WE21 主催の報告会にも参加し理解を深めました。今年度のアジア・友だち・みらい貯金の WE21 ジャパンの総額は 442.153 円。(WE21 かながわ回収数 31 箱、WE21 回収数 166 箱)

力 東日本復興支援

- 〇福島県いわき市の NPO 法人ザ・ピープルの復興事業/いわきオーガニックコットン PJ
 - ・オーガニックコットン畑の草取り作業ボランティア参加
- (8月4日・5日 1名)
- ・2回目となる貸し切りバス支援ツアーを WE21かながわで企画し、オーガニックコットンの綿摘みと被災地視察をしました。 (11月15日 20名)
- ・仮設に住む人たちや障害のある方々が作ったコットンドールを販売し、被災地への思いを伝えました。 (30 個 16,500 円)
- ・店頭に募金箱を設置しました。

(募金合計 33,640 円)

〇仮設住宅で暮らす人々が作る「塩竃のおしゃれ手袋」を販売し売上金を寄付しました。

(21.421円)

③ 地域の市民の国際的な意義の自覚を促進する事業

支援活動を推進するため、アジア地域の人々(特に女性)の自立支援に携わっている人や現地で活動している人を招いて「報告会」の開催、「演奏会」の共催を実施しました。

「報告会」

・5/26「フィリピン スタディツアー&ザ・ピープル仕分けボランティアツアー」

報告者:神田・田代 (参加者:15名)

・11/5「モンゴル 希望の村報告会」 報告者:ウルジさん (参加者:20名)

•2/13「カンボジア 幼い難民を考える会報告会」 報告者:峯村里香さん(参加者:17名)

「演奏会」

・2/16「モンゴルの草原に流れる馬頭琴の調べ」 奏者: ゾロさん 話し:ウルジさん・田中 (参加者:46名)

④ この法人の事業の広報普及を図る事業

WE21 かながわの活動を広めるために、次のとおり情報の受発信をしました。

ア「WE21 ジャパンかながわニュース」「WEショップ・かながわニュース」を年 4 回、6,000 枚発行しました。

2012 年	4 月	NO. 42	1,000 部
	7 月	NO. 43	2,000 部
	10 月	NO. 44	2,000 部
2013 年	1月	NO. 45	1,000 部

イショップのセール、寄付品募集などのチラシを作成、配布、掲示しました。

六角橋店 11,520 枚大口店 4,750 枚反町店 5,900 枚

- ウ WE21ジャパンかながわニュース、ショップチラシに3ショップのボランティア募集を載せ、広く公募しました。青木小学校のふれあいまつりではミニチラシを作成し、お母さんたちに配りました。ショップの周知につながることができました。
- エ 支援先の写真から作ったパネルやポスターを、ショップ及びイベントに活用しました。 又、フェアトレード品の作業工程のパネルを展示したり、製品ができる様子を紹介したミニカード を商品に添付したりして、支援先をアピールできました。
- オタウンニュースに広告を載せ、広く地域に周知しました。
 - 「新年のごあいさつ欄」に広告を載せました。

(1月1日号 10,500円)

・イラクと福島の子どもたちへのチョコ募金ときもの市開催記事が掲載され、地域の市民の関心を呼びました。 (1月14日号)

⑤ その他、第3条の目的達成に必要な事業

ア 平和な社会の構築に向けての活動

2011年3月11日の福島第1原発事故から、原発に頼らない社会の実現に向けての活動として「さよなら原発10万人集会」横浜会場への参加をしました。(7月16日)

イ 多文化共生の地域づくり

神奈川区国際協力ネットワーク(以下KKネットワーク)が行っている「外国につながる子どもたちの学習支援」に参加し、学習支援を行う指導者の確保など行いました。

ウ 他団体及び地域との連携

- コミュニティオプティマム福祉マネージメントユニットかながわ(以下ユニットかながわ)に参加し、神奈川区内の生活クラブ運動グループとの連携を図りました。毎月 1 回の運営委員会に出席して活動の情報を発信しました。
 - ・ユニットかながわ主催の「みんなDEまつり」(反町公園にて開催)に参加し、活動のアピールと参加団体のメンバーとの交流を図りました。 (12月2日)
 - ・ユニットかながわ主催の学習会「~減災について~減災するためには、私たちは何ができるか~」に参加し、3·11 を経験して、それぞれの団体がその時どのように行動したのか等の情報の共有をしました。 (2月9日)
- 神奈川区国際協力ネットワーク(以下KKネットワーク)に参加し、定例会に出席して神奈川区内で国際協力を課題としているグループとの連携を図り、活動の情報を受発信しました。
 - ・グローバルフォーラムと「民族音楽のルーツを探る~モンゴルの草原に流れる馬頭琴の調べ ~」を共催開催しました。支援先である「希望の架け橋」のウルジさんとそのつながりから馬頭 琴奏者の紹介をし、WE21 かながわのモンゴル支援について報告しました。

(2月16日 参加者:46名)

- ・アフリカルチャー主催「セネガル物語」に協賛団体としてチケット販売の協力を行い、WEショップを広くアピールするチャンスになりました。 (3月16日)
- 〇 神奈川区 区民活動支援センター・交流室利用に登録して、支援センター交流会に随時出席し、 他の団体にWE21 かながわの活動をアピールしました。